



「東京総合車両センター業務委託拡大について」

提案を受ける①!

東京地本は表題の提案を受け、以下の議論を行いました。

○委託拡大内容 ※委託先は JR 東日本テクノロジー(以降 JRTM)

保全科 出場ピット線における車両間ツナギ作業の委託	実施時期 2025年7月1日
装置科 高速度しゃ断器・BMS 電磁接触器修繕作業の委託	実施時期 2025年7月1日
装置科 主幹制御器修繕作業の委託	実施時期 2025年10月1日

○箇所体制 ※カッコ内は 2025 年度初比

管理変形等 41 (±0)	管理交代 2 (±0)
一般変形等 290 (▲3)	一般交代 8 (±0)

○主な提案時のやり取り

<出面数の変化と教育方法について>

組合) 一般変形▲3の内訳の考え方は?

会社) 出場ピット線のツナギ作業と、主幹制御器の委託は1枠に満たない。高速度しゃ断器と電磁接触器の委託によるものが2枠程度になる。

組合) 今回の提案で一般変形▲3となる出面で生み出される要員は、どのような運用を考えているか?

会社) そのまま班内に留まるほか、科内、所内での担務変更や、外へのチャレンジ、キャリアパスなど色々ある。

組合) 本施策に伴う JR 社員の出向や、委託先会社の社員の逆出向(出向受け)は発生するのか?

会社) 教育を目的とする出向、出向受けはない。教育は JR と作業を一緒に行いながらの OJT で行う。

<実施時期について>

組合) 移行期間が3ヶ月の作業と6ヶ月の作業があるが、考え方の根拠は何か?

会社) ジャンパ接続作業、しゃ断器、接触器検修は入場車両のポリウムが一定程度あるので、3ヶ月程度で教育を行える。主幹制御器は外す頻度が低いので、先の2件名よりも長めに期間を取る。いずれも入場予定を見込んだ期間設定としている。

<保全科 出場ピットのツナギ作業の委託について>

組合) 具体的な委託作業の内容について示されたい。

会社) 出場ピットのツナギ作業については、既に密着連結器やホ口、高圧ジャンパは JRTM が作業を行っている。今回の提案は、JR が現状行っている、低圧、三相、接地線について JRTM に委託するものである。

組合) これまで今回の作業のみ委託してこなかった根拠は何か?

会社) 会社としても調査しているが、明確な根拠は見つかっていない。長年の現場の実態がある。電氣的な部分を JR が担うとなっていたのかもしれない。

組合) 委託することによる、ラップ作業時の安全性の低下などは起きないか?

会社) 現状も JRTM のツナギ作業の後に JR の作業が入っているので、安全性は変わらない。

組合) JR がツナギ作業する場がなくなる危惧がある。

会社) 作業の機会は減るが、教材としてジャンパ連結器の訓練装置もあるので活用できる。